

曲ノ高橋水産㈱の「食」の安全・安心への取り組み

当市場の卸売業者である「曲ノ高橋水産㈱」は、札幌市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を結び、札幌市保健所が行う定期検査の他、自主的に放射能物質検査を行い、消費者の「食」の安全性確保に向けて日々取り組んでいます。

市場に隣接する関連会社の㈱札幌市中央卸売市場食品衛生検査センターと業務提携し、平成23年の12月から市場へ入荷する水産物について、年間130回以上の放射能物質検査を実施。多い時期には、毎日検査を実施しています。

【調査対象の主な魚種】

カレイ類（宗八・赤カレイ等）
北寄、ツブ、メンメ、メヌキ、タラ
タコ、ヤリイカ、赤物等

【調査対象地域】

噴火湾、日高
十勝・釧路、根室、道外

調査対象の魚種は底魚系を中心に、月に一度魚種ごとに検査。回遊性の旬のもの（スルメイカ、サンマ、秋シャケなど）も調査しています。

曲ノ高橋水産㈱の担当者さんの声

「札幌市民の台所」の荷受（卸売業者）として、まずは自分たちで出来ることから始めることが重要。会社一丸となって、安心・安全な食材を提供することが私たちの役目だと思っています！

【札幌市中央卸売市場食品衛生検査センターとは・・・？】

当市場に隣接する厚生労働大臣の登録検査機関。

昨年の福島原発事故後の放射能物質検査のニーズの増大を受け、平成23年12月からゲルマニウム半導体検出器を導入。検査業務の比率は自主検査が3割、輸出用の検査が3割、残りが学校給食関係等とのことで、「的確・迅速な検査を心がけています。さまざまなニーズに対応できます。」と、担当者さんは力強く話してくれました。

写真右が高精度のゲルマニウム検出器⑤。
写真下の透明の容器に入れて検査。

